

17 八丁池

はっちょういけ

「天城の瞳」の愛称で呼ばれる八丁池は標高1773mにある天城火山の火口湖と言われているが、最近の調査、断層のズレによってできた池であることがわかった。周囲がスズタケに覆われていたことから別名「青スズの池」とも呼ばれ、天然記念物のモリアオガエルの産卵地としても知られている。

八丁池の名は周囲が八丁（約870m）あることからついたと言われるが、実際は580mほどである。

八丁池へのルートは、沢山あるが、古くから親しまれている一般的なコース「上り御幸歩道」を紹介。

修善寺駅から河津駅行きのバスで43分、天城峠下車。新天城トンネルに向かって左側の山道を上る。ダムを越えて急な階段を15分足らずで旧天城トンネルに出る。今度はトンネルの右側から急な山道をジグザクと上ると25分で大きなブナの木がある天城峠の分岐。右に行けば二本杉峠（旧の天城峠）を経て猫越岳・仁科峠方面の伊豆山稜線歩道。八丁池へは左に行く。杉や松の人工林、ブナやヒメシヤラの自然林がおり混じった樹林帯は、新緑の頃、紅葉の頃に訪れると、天城の自然を満喫できる。



▲天城の紅葉

コースタイム(参考) 所要時間/約4時間30分

修善寺駅	バス	42分	1.0km	15分	1.0km	20分	1.4km	30分	2.2km	40分	2.1km	35分	2.7km	40分	1.3km	25分	0.5km	15分	0.3km	10分	バス	43分	修善寺駅
	水生地	15分																					
	水生地	15分																					
	水生地	15分																					

下り八丁池歩道経由



▲大ブナ (下り八丁池歩道)

峠からしばらくはちよっときつくて長い木の階段を上って下ると30分ほどで向峠。この後はほぼ平坦な道を快調に歩ける。よく見れば樹の間から富士山も望めることがある。大見分岐点からは、道が狭くなって右が多く歩きにくい所がある。相変わらずの樹林帯を上ると野鳥の森コマドリ歩道の分岐。真直ぐブナやヒメシヤラの樹林帯をさらに上り、アセビが多く見られるようになると寒天林道（八丁池遊歩道）に出る。左に少しでトイレのある分岐。トイレの分岐を左に1分で見晴台がある。見晴台に上るとブナの林に囲まれた八丁池が望める。晴れていればブナの林の上に富士山の頭が望める。



▲新緑の八丁池 (展望台より)

トイレまで戻り八丁池へはもう10分ほどだ。左に「下り御幸歩道」の道（帰りにこの道に入る）を見送ると八丁池だ。池畔に昭和5年（1930）6月に、この地を訪れた昭和天皇の行幸記念碑がある。八丁池は天城のハイキングの中で、最も人気のコースで、いつ訪れてもハイカーの姿がある。池を一周する遊歩道があったが、モリアオガエルの保護のため半分ほどで通行止め。池を左に回り込んだ所に龍がまわりついた水神さんが祀られている。反対側には弁財天もある。



▲昭和天皇行幸記念碑

池から「下り八丁池歩道」ができたので、このコースを経てもよい。八丁池から天城縦走路に入ってしまう「下り八丁池歩道」の入口がある。斜面を少し上れば、後は樹林帯の下り一方となる。ブナの巨木も見られる森で、秋には紅葉も楽しめるコースである。間違いやすい所もあるので誘導ロープ等をはずさず歩きたい。そしてこの道は「下り八丁池歩道分岐」の本谷歩道・下り御幸歩道側で合流する。



▲八丁池畔

旧天城トンネルから樹林帯を散策
森林浴を楽しみながら天城の瞳を尋ねる